

## スキャナーMTG3000による30系プリウスのブレーキフルード取替手順

### 1： ご注意事項

自動車メーカー発行の修理書をご参照の上、また、下記を必ずご一読の上、作業を行って下さい。

- ① シフトポジションが「P」で、パーキングブレーキをかけた状態でスキャナーMTG3000（以下：MTG3000）によるブレーキフルード取替作業を行って下さい。
- ② 30系は「プリウス診断ソフト」の「作業サポート」の「通常のエア抜き」を必ず使用して下さい。
- ③ ブレーキフルードを補充しながら作業を行い、ブレーキフルードがリザーバのMIN-MAXレベルの間を保つ様にして下さい。
- ④ アクкумуляタからのフルードリリース（逆流）によりブレーキフルードが溢れる場合がございます。フルード缶をリザーバ注入口に立てない様にして下さい。
- ⑤ リザーバのブレーキアクチュエータチューブNo.1（ブレーキブースタポンプASSY-リザーバ間チューブ）取付けポートよりフルード液面を低下させ、チューブ内にエアが混入すると、フルード取替作業中のポンプモータ駆動によりブレーキブースタポンプASSY内にエアが噛み込み、エア抜きが困難になります。
- ⑥ フルード取替作業中にアクкумуляタ圧低下によってブザーが作動する場合がございますが、異常ではございませんので作業を進めて下さい。
- ⑦ フルード取替の際はポンプモータの保護の為、連続駆動は100秒以内で行い、ペダルを解放してポンプモータ駆動を一旦停止させて下さい。
- ⑧ フルード取替作業により、圧力センサ異常などの故障コードが記憶される場合がございます。フルード取替作業の完了後、および手順中に指示がある場合は故障コードの消去を行って下さい。
- ⑨ 塗装面にブレーキフルードを付着させない様にして下さい。付着した場合は速やかに洗浄して下さい。
- ⑩ バキュームなど、負圧によるブレーキフルード取替作業は行わないで下さい。

### 2： 作業・操作手順

#### 手順1

ブレーキフルードをリザーバのMIN-MAXの間まで補充して下さい。

※作業中はブレーキフルードがMIN-MAX間となる様、適宜、フルードの補充を行って下さい。

#### 手順2

① I G-ONにして下さい。

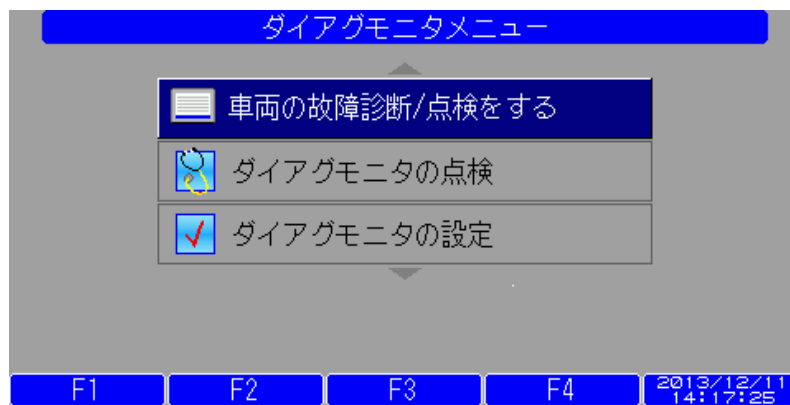
② シフトレバーをPレンジに入れて、パーキングブレーキを掛けて下さい。

③ MTG3000を車両側診断コネクタに接続して下さい。MTG3000が起動します。

④ MTG3000の画面に「ダイアグモニタメニュー」が表示されます。（次ページ手順3に進みます）

### 手順3

「ダイアグモニタメニュー」の「車両の故障診断/点検をする」にカーソルを合わせて、YESボタンを押して下さい。診断ソフトの選択画面が表示されます。



### 手順4

診断ソフトの選択画面が表示されましたら、「プリウスの故障診断」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



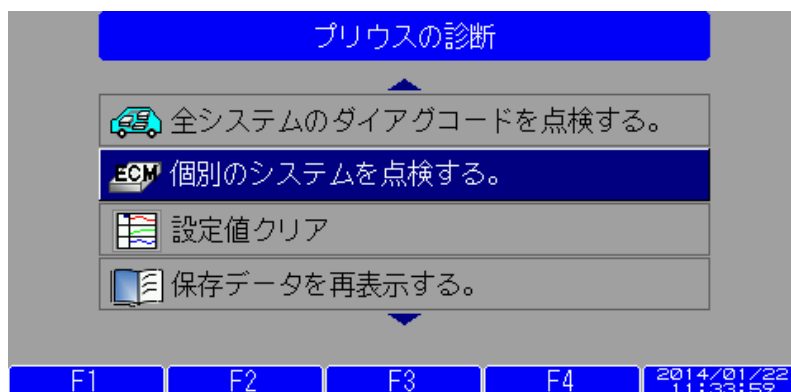
### 手順5

「エンジン型式」の選択画面が表示されましたら、「30系」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



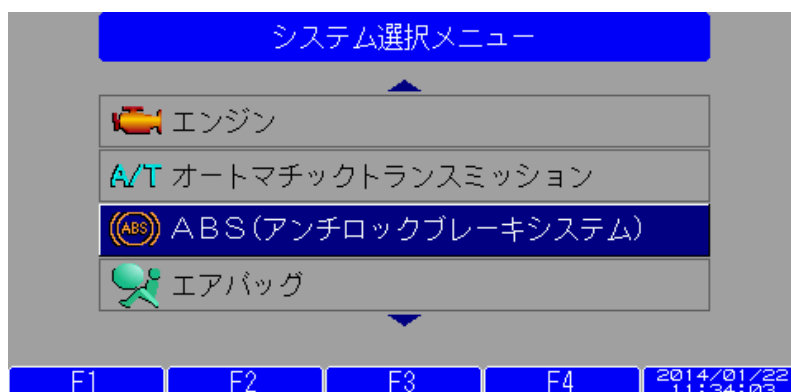
### 手順6

「プリウスの診断」の画面が表示されましたら、「個別のシステムを点検する」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



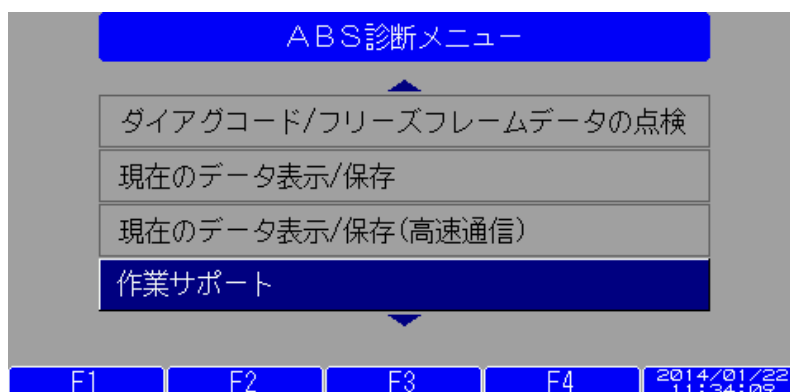
### 手順7

「システム選択メニュー」の画面が表示されましたら、「ABS (アンチロックブレーキシステム)」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順8

「ABS 診断メニュー」の画面が表示されましたら、「作業サポート」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順9

「作業サポートメニュー」の画面が表示されましたら、「エア抜き」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



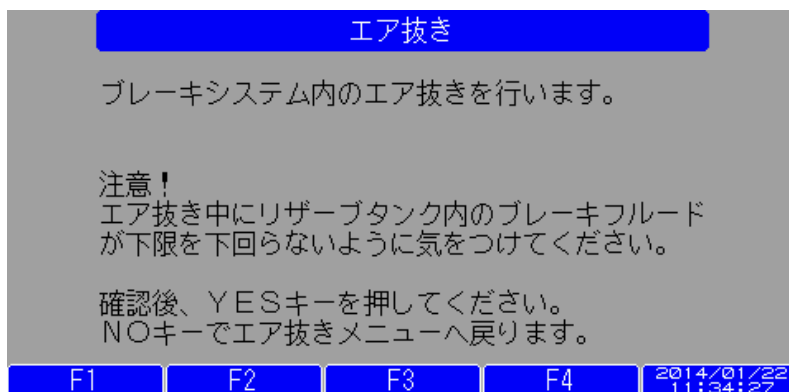
### 手順10

「エア抜きメニュー」の画面が表示されましたら、「通常時のエア抜き」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順11

「エア抜き」の画面が表示されましたら、画面に表示されている「注意！」の内容を確認したら、YESキーを押して下さい。



### 手順12

実行可能条件が表示されます。画面上に表示されている条件と車両の状態が一致していることを確認して下さい。確認後、YESキーを押して下さい。

**エア抜き**

以下の条件を確認し、YESキーを押して下さい。  
NOキーでエア抜きメニューへ戻ります。

- 車両が停止していること。
- パーキングブレーキが引いてあること。
- IG ON (Ready OFF) であること。
- リザーバルレベルスイッチ用コネクタが外されていること。

F1    F2    F3    F4    2014/01/22  
11:34:32

### 手順13

RR輪（右後輪）の作業手順が表示されます。表示に沿って作業を行って下さい。作業が完了したらYESキーを押して下さい。

**エア抜き**

ブレーキペダルを踏んだ状態でRR輪のブリーダプラグを緩めてください。

RR輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けてください。RR輪のエアが抜けたらRR輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。  
終了後、YESキーを押して下さい。

F1    F2    F3    F4    2014/01/22  
11:34:35

ポンプモータを保護する為、  
ペダルの踏み込みは100秒  
以内とし、100秒を経過した  
ら一旦ペダルを解放して、ポン  
プモータの駆動を停止させて下  
さい。

### 手順15

RL輪（左後輪）の作業手順が表示されます。表示に沿って作業を行って下さい。作業が完了したらYESキーを押して下さい。

**エア抜き**

ブレーキペダルを踏んだ状態でRL輪のブリーダプラグを緩めてください。

RL輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けてください。RL輪のエアが抜けたらRL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。  
終了後、YESキーを押して下さい。

F1    F2    F3    F4    2013/11/15  
11:51:44

ポンプモータを保護する為、  
ペダルの踏み込みは100秒  
以内とし、100秒を経過した  
ら一旦ペダルを解放して、ポン  
プモータの駆動を停止させて下  
さい。

### 手順16

FL輪（左前輪）の作業手順が表示されます。表示に沿って作業を行って下さい。作業が完了したらYESキーを押して下さい。

エア抜き

ペダリング後ブレーキペダルを踏んだ状態でFL輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行ってください。

FL輪のエアが抜けたらFL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。

終了後、YESキーを押してください。

F1 F2 F3 F4 2013/11/15 11:51:56

### 手順17

FR輪（右前輪）の作業手順が表示されます。表示に沿って作業を行って下さい。作業が完了したらF1キーを押して下さい。

エア抜き

ペダリング後ブレーキペダルを踏んだ状態でFR輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行ってください。

FR輪のエアが抜けたらFR輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。

終了後「F1 次へ」を押してください。

F1 次へ F2 F3 F4 2013/11/15 11:52:02

### 手順18

表示内容を確認したらF1キーを押して下さい。

エア抜き

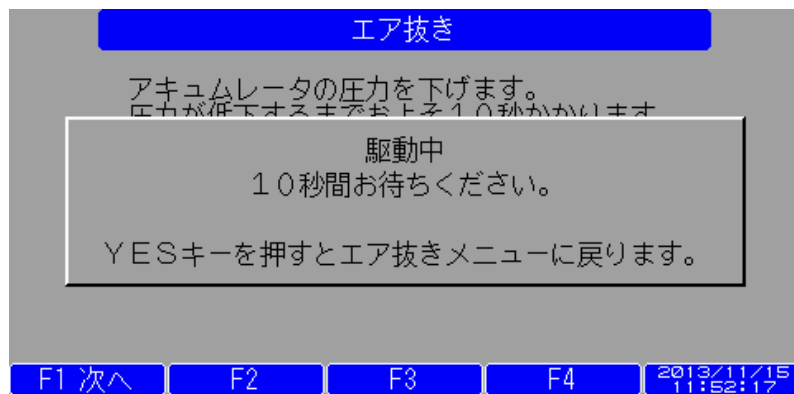
アクкумуляターの圧力を下げます。  
圧力が低下するまでおよそ10秒かかります。

「F1 次へ」を押してください。  
NOキーでエア抜きメニューへ戻ります。

F1 次へ F2 F3 F4 2013/11/15 11:52:10

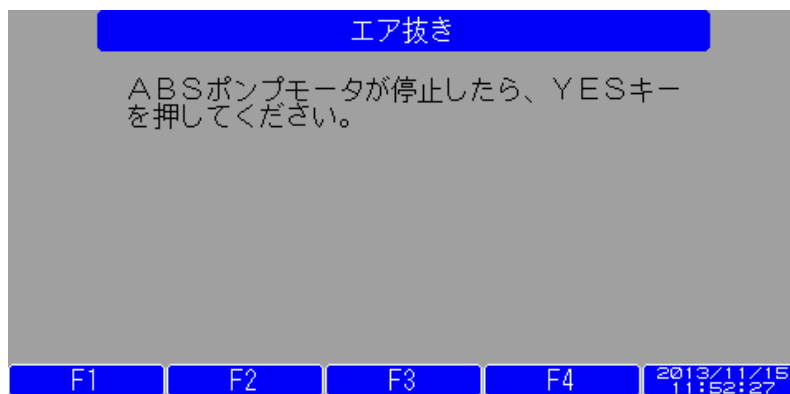
### 手順19

アキュムレータの圧力を下げる駆動が開始されます。「駆動中10秒間お待ちください。」のメッセージが消えて、次の画面が表示されるまでお待ちください。(メッセージ表示中はブザーが鳴り続けます。)



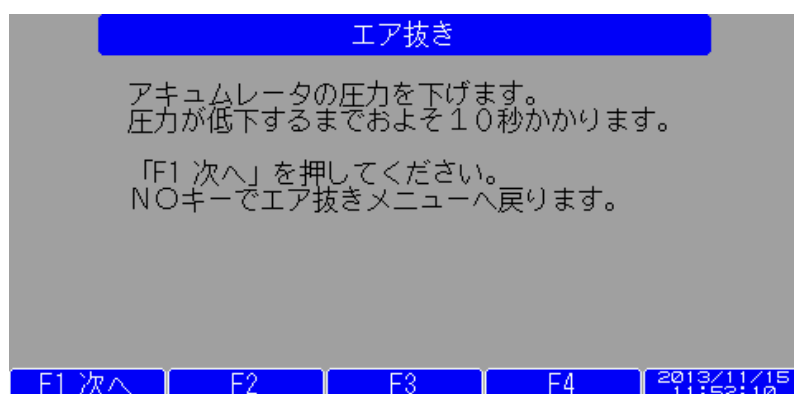
### 手順20

画面が切り替わり、ABSポンプモータが駆動を始めます。駆動音が止みましたら、YESキーを押して下さい。



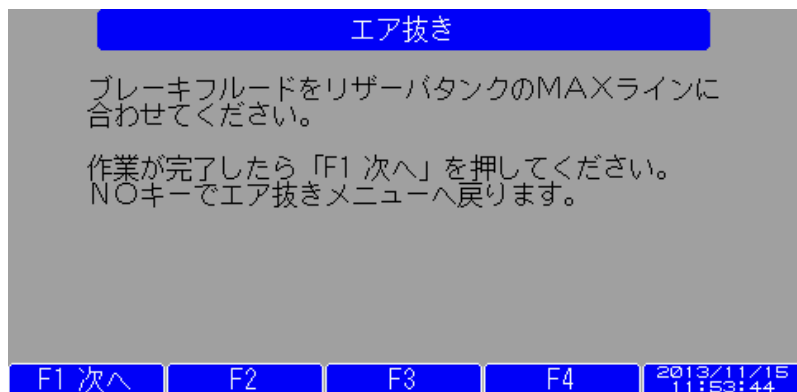
### 手順21

手順18の画面に戻ります。手順18から手順21までを繰り返し行い、手順22で示す画面が表示されるまで行って下さい。(6回程、繰り返すと手順22の画面が表示されます。)



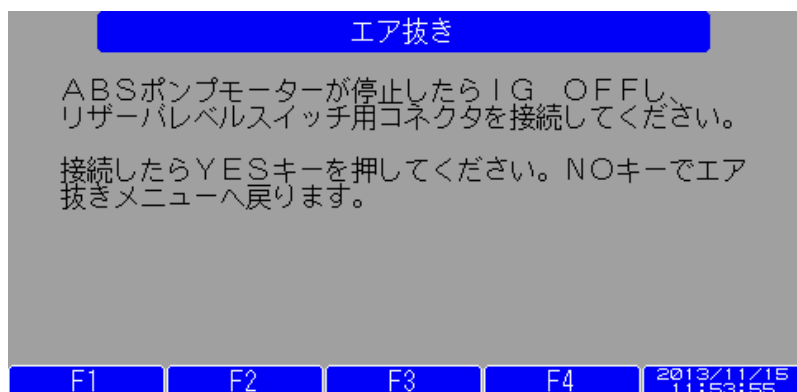
## 手順22

下図が表示されたら、リザーバタンクの液量がMAXラインとなっているか確認し、MAXラインに合う様、ブレーキフルードを調整して下さい。調整後、本体のF1キーを押して下さい。



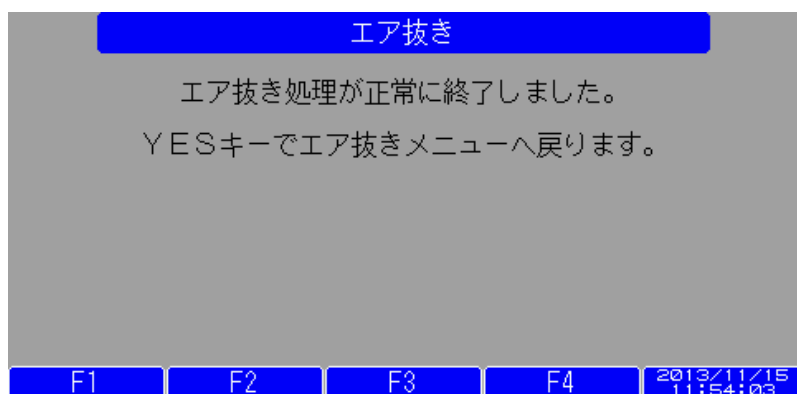
## 手順23

下図が表示されましたら、ABSポンプモーターが停止したことを確認の上、リザーバレベルスイッチ用コネクタを接続して下さい。その後、IG-OFFにし、YESキーを押して下さい。



## 手順24

下図が表示されましたら、YESキーを押して「エア抜きメニュー」に戻って下さい。「エア抜きメニュー」まで戻ったら、「システム選択メニュー」が表示されるまでMTG3000本体のCキーを押して下さい。





### 手順25

下図が表示されましたら I G-ONにして、YESキーを押して下さい。



### 手順25

「ABS診断メニュー」が表示されましたら、「ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順26 [終了]

下図の様にダイアグコードが表示されていないか確認して下さい。ダイアグコードが表示されている場合は、F1キーを押してダイアグコードの消去を行い、ABSのコントロールユニットがダイアグコードを記憶していないか確認して下さい。最後にブレーキフルードの漏れ点検を行い、異常が無ければ作業は終了です。

